



主な内容

- 2……平成26年度6月補正予算
- 3……国津の杜の行事、サマー献血キャンペーン
- 4……なばりカレッジ教養講座、市の仕事に対する意見を募集

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



## 生涯現役のまちづくり

「生涯現役のまちづくり」では、「健康づくり」と「仕事づくり」の2つの柱を設けています。「健康づくり」ではこれまで取り組んできた「ばりばり現役プロジェクト」を園科保健も含め充実します。加えて、スポーツ、レクリエーションの振興や、食生活の改善など

「生涯現役のまちづくり」では、「健康づくり」と「仕事づくり」の2つの柱を設けています。「健康づくり」ではこれまで取り組んできた「ばりばり現役プロジェクト」を園科保健も含め充実します。加えて、スポーツ、レクリエーションの振興や、食生活の改善など

を通じた健康づくりなど、これらをより充実、発展させます。さらには「健康なばり21計画」をバージョンアップさせ15の地域ごとの計画も入れ、地域ぐるみで取り組んでいた計画とします。「仕事づくり」では国のモデル事業を活用して、今、仕事を求めている65歳以上の皆様を対象に、農業の6次産業化や地域福祉などを通じたコミュニティビジネスなどの活性化により、雇用を生み出し、収入を得られる仕組みを作ります。また、南海トラフを震源とする大規模災害が想定される中、「震災に強い安全なまち名張」を積極的に発信し、事業所などの誘致を進め、雇用の場の拡大に努めます。

### 平成26年度施政方針

# 名張躍進の土台づくり 守りから攻めへ

4月が市長の改選時期であったため、6月の定例会議で平成26年度に名張市が進むべき方向を示した施政方針を亀井市長が述べました(例年は3月の定例会議)。今号では、その一部をご紹介します(市ホームページに全文を掲載しています)。

☎総合企画政策室 ☎63・7389



## 産み育てるにやさしいまちづくり

子育てと教育環境を充実させるとともに、情報発信し、名張に住んで子育てしたいと思っただけの環境を整えます。

平成25年4月に0歳から18歳までの子どもの育ちと学びを切れ目なく支援していく「子どもセンター」をオープン。また、平成26年1月には、24時間365日、小児

救急を担う「小児救急医療センター」を市立病院に開設しました。そして今後の取組みとして、「第3子以降の子どもに関する経済的負担の軽減」「保育サービスの充実」「結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援」の3本柱からなる「名張市子ども3人目プロジェクト」の推進に取り組めます。特に全国初の取組みとなる、フィンラ

ンドにおける出産前の健診から就学までの全ての相談を行う「ニューボラ事業の名張版」を実施します。一方で、婚活の機会を設けるとともに、子育て世代の若い人たちに転入していただく取組みとして、「わが街リフレッシュプロジェクト」として、関係機関との協働により空き家をリフォームする事業を進めます。これらの取組み

により、少子化の流れを止め、安心して子どもを産み育てられるまちづくりを一層推進していくとともに「税収を増やす、人口を増やす」ことにつなげます。また、耐震化が未整備となっている小中学校10校16棟について国の優遇措置のある2年以内に優先して取り組めます。あわせて、3月末で閉校となった3つの小学校については、地域の皆様の意向を尊重し、平成26年度中に、利活用に向けた整備に取り組めます。